

2009.04.27 18:30~ (情報基盤センター南館 108)

1: 出席者

加藤^a・千葉・片山・平林^b・松本^c・富樫^c・浅野^{cd}・古立^c・村上^c・Ichinkhorloo^c
(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2: 報告

- 経済産業省と文部科学省に申請していた原子力人材養成プロジェクトは不採用。
 - 2008 年 11 月 JAEA の核データ研究会の報告書は、吉田(亨)・古立の努力で提出した。
 - 2009 年 3 月 25・26 日 RIKEN で開催された核データのミニワークショップにおいて、加藤・大塚氏・青山・平田が報告・発表した。他に、助言委員の阿部氏(RCNP)が参加した。
 - 2009 年 5/25-29 IAEA 核データ会議、テクニカルミーティングに、加藤・能登・古立・Ichinkhorloo が参加予定。
 - IAEA 核データ会議にむけて、下記の 3 つの文書を用意する。
JCPRG 活動報告書(案をメールで送付する)。
採録方針に対する意見書。
EXFOR フォーマット XML 化の提案文。
 - 4 月 20 日に理研 WS (**Workshop on nuclear data and its application to nuclear astrophysics**) があり、M. Smith 氏 (OakRidge) を囲む会が催された。
 - 今年度の NRDDF/A の科研費が通った。予算として、920 万円。
 - IAEA 会議の出張旅費は、古立・Ichinkhorloo に対しては IAEA、加藤に対しては理学部からでる。
 - 今年度、松本が VBL 研究員として赴任した。
 - VBL 研究員のポストをもう一つ使えることになり、候補者として甲南大の方と交渉中。
- (以上、加藤)
- 年報の締め切りを 2 ヶ月延期する (片山)
 - WG の報告(古立)
 - final の E056、trans の E057 を IAEA へ送信。IAEA 核データ会議にむけて、数編送信予定。

➤ 他は別紙で報告

- Zerkin 氏の XML フォーマットを研究中。(千葉)
- IAEA 会議に Zerkin 氏及び千葉が不参加のため、Zerkin 氏より関係資料作成を千葉に要請があった(加藤)
- Sapporo-IAEA 核データ研究会の報告書及びプレゼンテーションファイルを HP 上で内部限定で公開予定(村上)

3: 議題

- 2008 年度年報の締め切りを 2 ヶ月延期し、6 月末とする。(片山)
- IAEA 会議の分担 Activity report を古立、XML フォーマットに関する書類を千葉が担当する。(加藤)
- IAEA の核構造データベースに JCPRG が参加すべきか?(加藤)
- IAEA のデータ採録に際するデータ重複のルールについて(古立)
ルールを犯したのが担当者のミスなのかを IAEA 担当者に問い合わせる。

注) 前回行われなかった前々回の議事録確認を行った。

次回、

次回開催予定日時 2009 年 6 月 22 日(月) 18 時 30 分~

次回開催予定場所 情報基盤センター南館 108